

コロンフォート内用懸濁液 25%

【この薬は？】

販売名	コロンフォート内用懸濁液 25% Colomfort Oral Suspension
一般名	硫酸バリウム Barium Sulfate
含有量 (1本中)	8g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、大腸CT用経口造影剤です。
- ・この薬は、大腸CT検査を行う前に飲むことで、腸管内での生体組織と内容物を明確に区別して、大腸CT検査をしやすくします。
- ・次の目的で処方されます。

腸内容物の標識による大腸コンピューター断層撮像の補助

- ・この薬は、指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・消化管に穿孔（穴があいた状態）のある人またはその疑いがある人
- ・消化管に急性出血のある人
- ・消化管に閉塞（詰まった状態）のある人またはその疑いがある人

- ・全身衰弱の強い人
 - ・過去に硫酸バリウム製剤に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・消化管に瘻孔（ろうこう）（皮膚と臓器あるいは臓器間に管（くだ）ができること）のある人またはその疑いがある人
 - ・消化管に狭窄（きょうさく）（狭くなって、食べものが通りにくくなった状態）のある人またはその疑いのある人
 - ・消化管に憩室（けいしつ）（袋状のくぼみができただ状態）のある人
 - ・消化管に潰瘍（かいよう）のある人、虫垂炎、憩室炎、潰瘍性大腸炎など消化管に炎症性疾患のある人
 - ・この他、腸重積症（腸管に腸管が入り込み、腸が詰まった状態）の人、消化器新生物の人、寄生虫感染の人、過去に消化管切除術を受けた人、生検後間もない人など、穿孔を生ずるおそれのある人
- この薬を使用することにより、アナフィラキシーなどの重篤なアレルギー症状を起すことがあります。他の医薬品に対して過敏な反応を経験したことのある人、喘息、アトピー性皮膚炎など、過敏症反応を起ししやすい人では、ショック、アナフィラキシーがあらわれるおそれがあるので、医師に伝えてください。消化器症状（腹痛、悪心、嘔吐（おうと）など）、ショック、アナフィラキシーなどの副作用や誤嚥について、説明を受けてください。
- 妊娠または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・飲む量および飲む日時は、医師が決めます。
- ・通常、成人の飲む量および回数は、この薬を1回1本、検査前日から検査までの指定された食事の後に3回飲みます。

●どのように飲むか？

- ・この薬は懸濁液であるため、飲む前によく振り混ぜてください。
- ・キャップ開栓後は、ただちに全量（1本）を飲んでください。

【午前の検査の場合】



※医師の指示に従い緩下剤等を服用してください。

※※検査当日の食事内容は医師の指示に従ってください。

[午後の検査の場合]



●飲み忘れた場合の対応

指定された時間に飲み忘れた場合は、医師に相談してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用することによりアナフィラキシーなどの重篤なアレルギー症状を起すことがあります。次のページにしめすような症状があらわれた場合には、飲むのをやめ、ただちに医療機関を受診してください。
- ・硫酸バリウム製剤では消化管内に停留することにより、消化管穿孔、腸閉塞、大腸潰瘍（かいよう）、憩室（けいしつ）炎、バリウム虫垂炎などを引き起こすとの報告があります。持続する排便困難、腹痛などの消化器症状があらわれた場合には、ただちに医療機関を受診してください。特に高齢の人は、症状が重くなるおそれがありますので、注意してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲む予定であることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
消化管穿孔 しょうかかんせんこう	吐き気、嘔吐（おうと）、激しい腹痛
腸閉塞 ちょうへいそく	嘔吐（おうと）、むかむかする、激しい腹痛、排便・排ガスの停止
腹膜炎 ふくまくえん	発熱、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、発熱
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下
顔面	血の気が引く、ほてり
眼	眼のまわりのはれ
口や喉	しゃがれ声、口唇のまわりのはれ、吐き気、嘔吐（おうと）
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、吐き気、むかむかする
腹部	吐き気、嘔吐（おうと）、激しい腹痛、腹痛、むかむかする
皮膚	じんましん
便	排便・排ガスの停止
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

形状	懸濁液
色	白色～淡黄白色
容器の形状 (32 mL)	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	硫酸バリウム
添加物	カルメロースナトリウム、キサンタンガム、クエン酸ナトリウム水和物、クエン酸水和物、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸ブチル、パラオキシ安息香酸メチル、ソルビン酸、シリコーン樹脂、ソルビタン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、ショ糖脂肪酸エステル、トウモロコシ油、プロピレングリコール、ポリソルベート80、サッカリンナトリウム水和物、キシリトール、D-ソルビトール、pH調節剤、香料

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・凍結を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：株式会社伏見製薬所 (<http://www.fushimi.co.jp>)

電話：0877-22-6234

受付時間：8時～16時30分

(土、日、祝祭日、弊社休業日を除く)